
星矢君と愉快な仲間達

翔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星矢君と愉快な仲間達

【NZコード】

N8507A

【作者名】

翔

【あらすじ】

星矢くんと変人たちが織り成すハートフルコメディー！

新学期（前書き）

完全見切り発車です。コメティーのはずなのにつまらないオーラが
ひしひしと感じられます。そんな駄文ですが、読んでいただけたら
幸いです！

。。。。。。。

田覚ましの電子音が鳴り響く。強制的に田を覚まされたオレは

「シャーラーップー！」

と叫び、田覚ましにチョップを食らわす。不機嫌なまま上半身だけ起こし、ぼーっとしていた。

「ちよつとーー星にいーー！」

バンッ！とドアを開け、叫ぶ我が妹。ちなみにオレの名前は夜野星矢という。妹は月魅。肩まで伸ばした茶色っぽい髪を後ろでまとめ、まだパジャマを着ている。

「んあ？なんだよ、朝つぱらからーー！」

欠伸を噛み殺しながら聞いてみる。

「いないのよーーどーにもーーパパとママがーー！」

「あつそつ。そんな」と…ええええーー？」

慌てて下に降りてリビングに入る。確かにいつもいる一人がいない。代わりに、封筒と手紙が置いてあった。

「星にい！ 読んでみよ！」

オレは急いで広げ読みはじめる。

おはよー 愛しの我が子たちよ! いきなりで悪いのですが、昨日の夜、会社の社長から電話がきて、「会社経営飽きた! あとよろしく」

「会社経営飽きた！あとよろしく」

だうなので、ちよつとアメリカへ行つてきます 母さんも行きたいそんなんで、連れていきます しばらくは帰つて来れないの、留守番よろびく! 生活費モロモロは通帳を預けておくので引き出しこそ使いやがれ! 『利用は計画的に んじやいつてきます』

こんなツッコミ所満載な手紙だった。封筒には通帳と電話番号が書いてある紙が入っていた。あっちの電話番号らしい。社長いいかげんだな…

「音符書きすぎだつ一つの...」

モー！？ ツツ 「 むと い ま す か ！ ？

「それより、星に「お腹空いたあ…朝」はん食べよ」

そつ満面の笑みで言うけれど、

作るのはオレだよ? そことこわかっ

「はやくーー！」

…ハイハイ。弱いな、オレ…

簡単な朝ごはんを作り、一人で食べる。

「こやあ～こい仕事してますな」

早くもこの状況に慣れてる我が妹。「つまもつて焼き魚をぱくつべ。
普通両腕が出ていたら寂しがるだらうに…

「寂しくないのか?」

「うふ? だって星にいるし。これで心置きなく皿に飯が食えるつ
てもんよつー！」

「ならいいんだけどさ。」

色気より食に気つてか。さすがあのクレイジー男＆女の子供だぜ。
…オレもじやん…！

さて、オレ達は普通通りに学校の用意をして家をでる。

ん~いい天氣だあ~

かるく肩を回し、屈伸をする。時計をみると7時である。もう少しそろやつが…

「せえーいーやあー（@^_~^@）」

でた。変質者。顔文字つかつてんじゃねえよ。変質者」と神崎麗奈は長い黒髪を靡かせ、一直線に走つてくる。麗奈は女なので、並の男なら、喜ぶ場面だらうが、オレは違う。回していた腕を振りかぶつたままとめ、タイミングを合わせ振り下ろす。バキヤツ！

「ふん♪」おー？」

やつたあ 麗奈が地面にトントンしたよお ひどいっ自己防衛さ

むくつと顔をあげると麗奈。

「星矢…お前いつからそんな趣味が…！」

いやねえし

「んじや 学校行こ」

妹の一聲でオレ達は麗奈を置いてですたすた歩く。

「まつまつてくれーー一人ともつーー」

追い付いた麗奈は、月魅と話している。なんだかんだいって仲いい二人だ。

「麗奈先輩ーウチの両親いなくなつちゃつた

嬉しそうだなオイ。

「よかつたじやないかー念願が叶つてーー

願つてたのーー？

「はいっ これであの家は私のものですつーー！」

腹黒つ！

「星矢を奴隸にできるとは。ついやましいかぎりだ。」

オレ奴隸！？

「違います！星には不可触賤民ですっ！」

いやそれ知ってる人限られるから！しかも奴隸よりも酷いからねー？

「そうだったな。すまんすまん。」

納得すんじゃねえ！

「月ちゃん、それはひど過ぎるよ？」

「うん！ そういう…え？」

「あ、颯先輩」

月魅に声をかけたのは谷口颯たにぐち はやオレの幼なじみだ。ちなみに超美形。

「おはよ～また星矢はいじられてんなん～…」

ポンポンとオレの右肩をたたく颯。

「いじられてうれしそうだなあ～」

ポンポンと左肩をたたく月魅。

「こいつ」

ペシベシと頭をたたく麗奈。

オレは頭を後ろに振りかぶる… ガンッ！

「ふがあー？」

麗奈ちゃん鼻血ブーだね あれれー？月魅ちゃんが逃げちゃった
よお？（名探偵コーン風）

「はあー…毎度毎度よくあきないな…行こうぜ。」

颯は地面に寝そべる麗奈の襟首を掴むとズルズルと引きずりながら校舎へ向かう。

いよいよ一年かあ…あ、高校ね。

「月ーなにやつてんの？はやくしりょー」

「ついでオレの新生活は始まった。」

新学期（後書き）

感想、ご意見等お待ちしております！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8507a/>

星矢君と愉快な仲間達

2010年10月22日00時18分発行